

「日医標準レセプトソフト」

## 災害に係る一部負担金減免について

2016年5月17日

公益社団法人 日本医師会

= 改定履歴 =

平成 28 年 5 月 17 日

「減額（円）」の説明を追記しました。

1. 減免等の保険番号マスタについて

- 960 減額（割）
- 961 減額（円）
- 962 免除
- 963 支払猶予
- 959 災害該当

2. 患者登録について

(ア) 患者が主保険をもつ場合について、

「保険者番号」は、保険者が特定できない場合は空欄で登録してください。

「保険の種類」は、保険者が特定できない場合であっても必ず選択してください。

「記号」「番号」は、記号番号が確認できない場合は空欄で登録してください。

(イ) 保険番号960～963のうち、該当する保険番号を患者登録画面の公費欄へ登録してください。

(ウ) 災害該当の場合は、保険番号959も患者登録画面の公費欄へ登録してください。  
未登録の場合は、災害非該当とみなしますのでご注意ください。

(エ) 減免適用期間（始期）は、同一月に【非減免対象分】の診療がある場合は、月途中の日付（減免適用日）で登録してください。【非減免対象分】の診療がない場合は、「1日」で登録しても差し支えありません。

※961減額（円）については、平成24年4月診療分以降で対応を行っておりますので、減免適用期間（始期）は平成24年4月以降の日付で登録してください。

(オ) 減免適用期間（終期）が不明な場合は、市町村等へ確認をお願いします。

(カ) 上記の保険番号は、保険組み合わせに含めません。

◎ 960減額（割）の入力例（適用期間：平成23年3月1日～）

負担者番号	公費の種類	受給者番号	適用期間
<input type="text"/>	960 減額（割）	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	959 災害該当	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

960減額（割）は、所得者情報において減額割合を入外別に入力します。

- ・ 外来減額（%） 0～100
- ・ 入院減額（%） 0～100

5割減額の入力例

番号	公費種別	適用開始日	適用終了日	番号	適用開始日	適用終了日	外来減額（%）	入院減額（%）
1	減額（割）	H23. 3. 1	9999999	1	H23. 3. 1	9999999	50	50

選択番号

適用期間  ~

外来減額（%）

入院減額（%）

選択番号  次月複写 他一部負担入力 削除 更新

◎ 961減額（円）の入力例（適用期間：平成24年4月1日～）

負担者番号	公費の種類	受給者番号	適用期間
<input type="text"/>	961 減額（円）	<input type="text"/>	H24. 4. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	959 災害該当	<input type="text"/>	H24. 4. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

961減額（円）は、所得者情報において減額金額を入外別に入力します。

- ・ 外来減額（円）
- ・ 入院減額（円）

5000円減額の入力例

番号	公費種別	適用開始日	適用終了日	番号	適用開始日	適用終了日	外来減額（円）	入院減額（円）
1	減額（円）	H24. 4. 1	9999999	1	H24. 4. 1	9999999	5,000	5,000

選択番号

適用期間  ~

外来減額（円）

入院減額（円）

選択番号  次月複写 他一部負担入力 削除 更新

◎ 962免除の入力例（適用期間：平成23年3月1日～）

負担者番号	公費の種類	受給者番号	適用期間
<input type="text"/>	962 免除	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	959 災害該当	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

◎ 963支払猶予の入力例（適用期間：平成23年3月1日～）

負担者番号	公費の種類	受給者番号	適用期間
<input type="text"/>	963 支払猶予	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	959 災害該当	<input type="text"/>	H23. 3. 1 ~ 9999999
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

◎ 入院の留意事項

下記に該当する場合は、主保険の適用期間を減免適用期間（始期）で区切り、同一内容で登録を行ってください。

※ 【非減免対象分】の診療と【減免対象分】の診療を別会計とする為

- (1) 減免適用期間（始期）以前から継続して入院している場合
- (2) 減免適用期間（始期）以前に一度退院して、減免適用期間（始期）以降に再入院された場合

(例) 平成23年3月以前から継続入院

963 支払猶予 適用期間：平成23年3月11日～

959 災害該当 適用期間：平成23年3月11日～

保険	保険者番号	本家	補助	継続	記号	番号	有効開始日	有効終了日	確認年月日	資格取得日	
協会	01130012	本人			1111111	22	H23.3.11	9999999	H23.3.25		済
協会	01130012	本人			1111111	22	H22.4.1	H23.3.10	H23.3.25		済

保険	負担者番号	受給者番号	適用開始日	適用終了日	確認年月日	
支払猶予			H23.3.11	9999999	H23.3.25	済
災害該当			H23.3.11	9999999	H23.3.25	済

番号	保険	公費1	公費2	公費3	公費4	適用開始日	適用終了日	特定受給者番号	表示
0002	協会					H23.3.11	9999999		
0001	協会					H22.4.1	H23.3.10		

協会

- ・平成22年4月 1日 ～ 平成23年3月10日
- ・平成23年3月11日 ～ 99999999 で期間を区切って登録

### 3. 負担金計算について

- 960 減額 (割) → (医療費部分) 減額割合に応じた負担金計算
- 961 減額 (円) → (医療費部分) 減額金額に応じた負担金計算
- 962 免除 → (医療費部分) 患者負担なし
- 963 支払猶予 → (医療費部分) 患者負担なし

※【962免除+959災害該当】又は【963支払猶予+959災害該当】の場合は、食事療養標準負担額、生活療養標準負担額についても「患者負担なし」とします。(平成24年2月29日まで)

※自費保険、治験

- ・・・ 減免及び災害該当の取り扱いをしません。(保険番号960～963、959の入力は無いものとします)

※日雇特例被保険者の特別日雇(特別療養)(保険の種類「004特別」がこれに該当)

- ・・・ 保険者番号の上4桁が”0404”の保険者を除き、減免の取り扱いをしません。(保険番号960～963の入力は無いものとします)

※特別療養費(国民健康保険被保険者資格証明書による受診)

- ・・・ 【962免除+959災害該当】又は【963支払猶予+959災害該当】の場合を除き、減免の取り扱いをしません。(保険番号960～963の入力は無いものとします)

※公費単独(生保等)

- ・・・ 【962免除+959災害該当】又は【963支払猶予+959災害該当】の場合を除き、減免の取り扱いをしません。また、医療券の上限額が0円の場合も減免の取り扱いをしません。(保険番号960～963の入力は無いものとします)

#### 4. 960減額（割）の負担金計算について

##### （ア）主保険単独時の計算方法

###### 【自己負担限度額がある場合】

（１）主保険自己負担限度額×（１００％－減額％）

（２）請求点数×１０円×主保険の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）と（２）を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

###### 【自己負担限度額がない場合】

請求点数×１０円×主保険の負担割合×（１００％－減額％）

##### （イ）公費併用時の計算方法

###### 【全国公費併用時で、公費自己負担限度額がある場合】

（１）上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

（２）公費自己負担限度額×（１００％－減額％）

（３）請求点数×１０円×公費の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）～（３）のうち、一番小さい金額を患者負担とします

###### 【全国公費併用時で、公費自己負担限度額がない場合】

（１）上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

（２）請求点数×１０円×公費の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）と（２）を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

###### 【地方公費併用時で、公費自己負担限度額がある場合】

（１）上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

（２）公費自己負担限度額

（３）請求点数×１０円×公費の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）～（３）のうち、一番小さい金額を患者負担とします

###### 【地方公費併用時で、公費自己負担限度額がない場合】

（１）上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

（２）請求点数×１０円×公費の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）と（２）を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

== 重要 ==

下記の計算方法で負担金計算を行いたい場合は、960減額（割）の登録を行う際、「公費負担者番号（1桁目）」に“1”（半角）を入力してください。

##### ・主保険単独時の計算方法 【自己負担限度額がある場合】

（１）主保険自己負担限度額

（２）請求点数×１０円×主保険の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）と（２）を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

##### ・公費併用時の計算方法 【全国公費併用時で、公費自己負担限度額がある場合】

（１）上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

（２）公費自己負担限度額

（３）請求点数×１０円×公費の負担割合×（１００％－減額％）

※（１）～（３）のうち、一番小さい金額を患者負担とします

5. 961 減額（円）の負担金計算について

(ア) 主保険単独時の計算方法

【自己負担限度額がある場合】

(1) (主保険自己負担限度額) - (減額金額)

(2) (請求点数 × 10円 × 主保険の負担割合) - (減額金額)

※ (1) と (2) を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

【自己負担限度額がない場合】

(請求点数 × 10円 × 主保険の負担割合) - (減額金額)

(イ) 公費併用時の計算方法

【全国公費併用時で、公費自己負担限度額がある場合】

(1) 上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

(2) (公費自己負担限度額) - (減額金額)

(3) (請求点数 × 10円 × 公費の負担割合) - (減額金額)

※ (1) ~ (3) のうち、一番小さい金額を患者負担とします

【全国公費併用時で、公費自己負担限度額がない場合】

(1) 上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

(2) (請求点数 × 10円 × 公費の負担割合) - (減額金額)

※ (1) と (2) を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

【地方公費併用時で、公費自己負担限度額がある場合】

(1) 上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

(2) 公費自己負担限度額

(3) (請求点数 × 10円 × 公費の負担割合) - (減額金額)

※ (1) ~ (3) のうち、一番小さい金額を患者負担とします

【地方公費併用時で、公費自己負担限度額がない場合】

(1) 上記主保険単独時と同様の計算で求めた金額

(2) (請求点数 × 10円 × 公費の負担割合) - (減額金額)

※ (1) と (2) を比較して、金額の小さい方を患者負担とします

(ウ) <外来の場合>

1日目の(請求点数 × 10円 × 主保険の負担割合)の計算額(10円単位)が減額金額に満たない場合は、患者負担を0円とし、(減額金額 - 計算額)を2日目の減額金額とします。

<入院の場合>

月に複数回定期請求があり、1期目の計算額が減額金額に満たない場合は、患者負担を0円とし、(減額金額 - 計算額)を2期目の減額金額とします。

(エ) 同一月に保険者が変更になった場合の保険者変更後の減額計算は、保険者変更前の減額金額を考慮しません。(保険者毎に減額計算を行います)

6. 公費をもつ患者のレセプト作成について

一部負担金が免除又は支払猶予された場合で、食事負担に係る公費負担医療の給付対象金額が0円の場合は、医保単独レセプトを作成します。

(ア) 食事負担についても免除又は支払猶予減となる場合、又は、  
食事負担については免除又は支払猶予減とならない場合で、併用する公費が食事・生活療養費を給付対象としない場合（全額患者負担となる場合）

・・・ 医保単独レセプト

(イ) 食事負担については免除又は支払猶予減とならない場合で、併用する公費が食事・生活療養費を給付対象とする場合（全額患者負担とならない場合）

・・・ 公費併用レセプト（公費の請求点は「0」とします）

(例) 協会3割+難病（公費負担者番号の実施機関番号501）

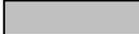
	請求点	負担金	回数	請求円	標準負担
保険	38914	免除	93	59520	24180
公費1	0	0			

この場合、レセ電（S Iレコード）の負担区分は、診療識別97を除き、「1」で記録します。

7. レセプト・レセ電・社保診療報酬請求書の取り扱いについて（災害該当分が対象）

7-1 <レセプト欄外上部及び摘要欄の記載>

	959 災害該当	960 減額（割） + 959 災害該当 961 減額（円） + 959 災害該当 962 免除 + 959 災害該当 963 支払猶予 + 959 災害該当
被保険者証確認済み	記載無し	(災1)
公費単独 (負担者番号確認、 受給者番号確認)		
保険者特定、 記号番号が確認できない	(不詳)	(不詳・災1)
公費単独 (負担者番号確認、受給者 番号が確認できない)		
保険者が特定できない	記載無し	(災1)
公費単独 (負担者番号が確認でき ない)	※保険者の特定又は公費負担者番号の確認ができない場合は、患者登録画面の基本情報の住所、連絡先情報の名称、住所、電話番号【昼】の登録内容を確認用項目としてレセプト摘要欄先頭に記載します（9頁を参照）	
非減免対象分と減免対象分 の診療が混在する場合	記載無し	(災2) ※レセプトは1枚にまとめます

 災害該当の未確定レセプト

主保険＋公費で、「959災害該当」のみ入力されている場合は、以下の取り扱いとします。

主保険の状態	公費の状態
被保険者証確認済み	負担者番号未確認・・・確認用項目の記載
	負担者番号確認、受給者番号未確認・・・(不詳)
保険者特定、記号番号が確認できない	負担者番号未確認・・・(不詳)、確認用項目の記載
	負担者番号確認、受給者番号未確認・・・(不詳)
保険者が特定できない	負担者番号未確認・・・確認用項目の記載
	負担者番号確認、受給者番号未確認 ・・・(不詳)、確認用項目の記載

 災害該当の未確定レセプト

レセプト欄外上部の記載例

※「不詳」の記載例

○ 09685 (不詳)  
診療報酬明細書(医科入院外)1社 平成23年 3月分 県番13 医コ1234566

※「(災1)」の記載例

○ 09703 (災1)  
診療報酬明細書(医科入院外)1社 平成23年 3月分 県番13 医コ1234566

※「(災2)」の記載例

○ 09688 (災2)  
診療報酬明細書(医科入院外)1社 平成23年 3月分 県番13 医コ1234566

※「(不詳・災1)」の記載例

○ 09695 (不詳・災1)  
診療報酬明細書(医科入院外)1社 平成23年 3月分 県番13 医コ1234566

(不詳・災1)の文字については、該当レセプトの上部に他のメッセージ(有効な保険無し、主科未設定等)が記載される場合において印字が重なる場合があります。

保険者の特定又は公費負担者番号の確認ができない場合は、確認用項目として、レセプト摘要欄に赤枠の項目を自動記載します。

(P02)患者登録 - 患者登録 - 医療法人 オルカクリニック

旧姓

受付 | 基本情報 | 保険組合せ履歴 | 連絡先等 | 所得者情報 | 入力履歴 | 特記事項

カナ氏名 性別 死亡区分 通名  
漢字氏名 生年月日 0 カルテ発行なし 0 U・P指示なし 0 患者

保険者番号 保険の種類 保険者名 番号 保険組合せ  
本人家族 補助 継続 所在地  
記号 番号  
資格取得日 有効期間 電話  
被保険者名 確認年月日 未

負担者番号	公費の種類	受給者番号	適用期間	確認年月日	表示
			~		未 無
			~		未 無
			~		未 無

住所  
電話 目名 連絡先 減免事由 00 該当なし 割引率 00 該当なし 入金方法 01 現金  
世帯主名 続柄 状態 00 該当なし 00 該当なし 00 該当なし  
領収・明細  
禁忌  
アレルギー  
感染症  
コメント

再発行 保険追加 公費追加 ←タブ切替 労災・自賠 主科設定 患者複写 禁忌薬剤  
戻る クリア 前回患者 患者削除 保険組合せ 前↑ 次↓ タブ切替→ 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

患者登録－基本情報画面

(P02)患者登録 - 患者登録 - 医療法人 オルカクリニック

旧姓

受付 | 基本情報 | 保険組合せ履歴 | 連絡先等 | 所得者情報 | 入力履歴 | 特記事項

患者自宅情報  
FAX 携帯  
e-mail 職業

連絡先情報  
名称 続柄  
郵便番号  
番地方書  
電話 昼 夜

勤務先情報  
名称  
郵便番号  
番地方書  
電話

帰省先情報  
名称  
郵便番号  
番地方書  
電話

再発行 保険追加 公費追加 ←タブ切替 労災・自賠 主科設定 患者複写 禁忌薬剤  
戻る クリア 前回患者 患者削除 保険組合せ 前↑ 次↓ タブ切替→ 氏名検索 予約登録 受付一覧 登録

患者登録－連絡先等画面

7-2 <レセプト特記事項の記載>

(災1)と記載するレセプトの場合は、特記事項に「96」を自動記載します。  
 (災2)と記載するレセプトの場合は、特記事項に「97」を自動記載します。

「96」の記載例

氏名	ニチイ タロウ	特記事項
	日医 太郎	
名	1男3昭43. 2. 1生	
職務上の事由		

7-3 <レセプト摘要欄へ的一部負担金等の記載>

(災2)と記載するレセプトの場合は、【非減免対象分】の診療に関する一部負担金等をレセプト摘要欄に自動記載します。

外来レセプトの記載例

(災2)	
【非減免対象分扱い一部負担金】	850円

入院レセプトの記載例 (協会単独での入院)

(災2)	
【非減免対象分扱い一部負担金】	99190円
【非減免対象分扱い食事標準負担額】	11700円

入院レセプトの記載例 (生保単独での入院)

(災2)	
【非減免対象分扱い一部負担金】	22080円
【非減免対象分扱い食事標準負担額】	0円

※窓口負担が発生する単独公費の場合は、【非減免対象分】の診療の一部負担金と医療券の上限額を比較して、【非減免対象分】の診療の一部負担金が医療券の上限額未満であれば、所得者情報の入院上限額を【非減免対象分】の診療の一部負担金の金額に変更し、入院レセプトを作成してください。

記載例 (生保単独での入院) の患者登録の内容が

- ・【963支払猶予+959災害該当】の公費欄登録 (減免適用期間 (始期) 3月11日)
- ・生保の医療券の上限額 30,000円 (所得者情報の入院上限額を 30,000円で登録)
- ・3月10日までの一部負担金が 22,080円

の場合は、所得者情報の入院上限額を 22,080円に変更し、入院レセプトを作成することで、レセプト摘要欄に【非減免対象分扱い一部負担金】22,080円が記載されます。

【非減免対象分】の診療の一部負担金については「34 退院時仮計算」にて3月10日までの金額を算出してください。

7-4 <公費負担者番号が確認できない場合の紙レセプト記載>

公費負担者番号が確認できない場合は、公費の法別番号（2桁）を公費負担者番号欄に自動記載します。

-		-	
公費①	1 2	公費①	
公費②		公費②	

7-5 <災害該当分のレセ電記録>

※災害該当の未確定レセプト・・・災害該当分のうち、保険者の特定又は公費負担者番号の確認ができないレセプト

※災害該当の確定レセプト・・・災害該当分のうち、未確定レセプトを除くレセプト

災害該当の確定レセプトは、レセ電データへ記録します。また、災害該当の未確定レセプトもレセ電データの記録対象とすることが可能です。災害該当の未確定レセプトをレセ電データへ記録する場合は、システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」のレセ電画面で「保険者が特定できない災害該当レセプトのレセ電記録」を「1 記録する」で設定し、「44 総括表・公費請求書」よりレセ電データの作成を行ってください。レセ電データの記録対象としない場合は、「0 記録しない」で設定してください。（初期設定は「1 記録する」としています）

The screenshot shows the 'レセ電' (Reception) settings window. The 'レセ電' tab is selected. The '保険者が特定できない災害該当レセプトのレセ電記録' (Recording of reception data for disaster-related prescriptions where the insurer cannot be specified) is set to '1 記録する' (Record). Other settings include 'レセ電データ履歴保存の有無' (Save reception data history) set to '0 行なわない' (Do not perform), 'ファイル出力先設定' (File output destination) set to '1 フロッピー' (Floppy), and 'レセ電データ出力先' (Reception data output destination) set to '/home/orca/'.

レセ電の記録内容についてはプログラムで以下のように対応しています。

(災害該当の確定レセプト、災害該当の未確定レセプトの共通仕様です)

保険者特定、記号番号が確認できない場合	保険者レコードの記録内容 ○被保険者証の「保険者番号」を記録する ○「記号」は記録しない ○「番号」に「999999999 (9桁)」を記録する
保険者が特定できない場合	保険者レコードの記録内容 ○「保険者番号」に「99999999 (8桁)」を記録する ○「記号」は記録しない ○「番号」に「999999999 (9桁)」を記録する
公費負担者番号が確認できない場合	公費レコードの記録内容 ○「負担者番号」に「法別2桁+888888 (6桁)」を記録する
公費受給者番号が確認できない場合	公費レコードの記録内容 ○「受給者番号」に「9999999 (7桁)」を記録する
災1と記載する場合	共通レコードの記録内容 ○レセプト特記事項に「96」を記録する 保険者レコードの記録内容 ○減免区分を記録する(支払猶予であれば”3”を記録) コメントレコードの記録内容 ○摘要情報の先頭に“災1”を記録する
災2と記載する場合	共通レコードの記録内容 ○レセプト特記事項に「97」を記録する 保険者レコードの記録内容 ○減免区分を記録する(支払猶予であれば”3”を記録) コメントレコードの記録内容 ○摘要情報の先頭に“災2”を記録する ○【非減免対象分】の診療に関する一部負担金等を記録する
不詳と記載する場合	コメントレコードの記録内容 ○摘要情報の先頭に“不詳”を記録する
保険者の特定又は公費負担者番号の確認ができない場合	コメントレコードの記録内容 ○摘要情報の先頭にコメントレコード(810000001)を使用して、患者登録画面の基本情報の住所、連絡先情報の名称、住所、電話番号【昼】の登録内容を記録する

補足：災害該当の未確定レセプトのみの紙レセプトを作成する方法

「13 照会」の基本情報画面に災害該当レセプトを検索する為のコンボボックスを新設しました。災害該当の確定レセプトを検索する場合は「2 確定分」を、災害該当の未確定レセプトを検索する場合は「1 未確定分」を選択することで、該当レセプトの検索が可能となります。

災害該当の未確定レセプトのみの紙レセプトを作成する場合は、検索条件として基本情報画面の診療年月日を指定し、災害該当コンボボックスで「1 未確定分」を選択して検索を行います。検索結果画面の明細書連携機能を使用することで患者番号を入力することなく該当レセプトを作成することができます。検索結果画面の明細書連携を実行した後、「42 明細書」の個別レセプト作成で「4 照会連携」を選択して、レセプト作成を行ってください。

※「13 照会」で該当レセプトの検索を行うには、事前に該当月のレセプト一括作成が必要となります。(レセプトを印刷する必要はありません)

※明細書連携機能でなく、通常の個別レセプト作成で該当レセプトの作成を行っても問題はありません。

The screenshot shows the search interface for 'Q01)患者照会'. The window title is '(Q01)患者照会 - 検索条件入力 - 医療法人 オルカクリニック'. The search criteria section includes fields for '検索条件', '診療年月日', and various filters like '生年月日', '年齢', '性別', etc. At the bottom right, the '災害該当' dropdown menu is open, showing '1 未確定分' (highlighted) and '2 確定分'. The bottom toolbar contains buttons for '全てクリア', '診療月', '条件削除', '条件変更', '条件保存', '戻る', 'クリア', '診療日', '前月', '次月', 'タブ切替', and '検索'.

7-6 < 社保診療報酬請求書の作成 >

通常分と未確定分の社保診療報酬請求書を作成します。

通常分には、「災害該当でないレセプト」と「災害該当の確定レセプト」を集計します。  
未確定分には、「災害該当の未確定レセプト」を集計します。

未確定分については、診療報酬請求書の上部に（未確定分）と記載し、備考欄に「件数」「実日数」「点数」「一部負担金」「食事件数」「食事回数」「食事金額」「食事標準負担額」の合計記載を行います。

※（未確定分）の記載例



※外来の備考欄記載例

備考								
未確定分:	件数	4	日数	3	点数	1,125	一部負担金	0

※入院の備考欄記載例

備考								
未確定分:	件数	1	日数	21	点数	32,715	一部負担金	0
	食事件数	1	食事回数	63	食事金額	40,320	食事標準負担額	0

7-7 <請求管理画面の表示>

請求管理画面にレセプト上部に記載した「不詳」等の文字を表示します。

※被保険者証確認済みのレセプトで、「959災害該当」のみ入力されている場合は、レセプト上部に記載項目はありませんが、“猶予なし”と表示します。

不詳災1の表示例

(H01)レセプト請求管理登録-手書き訂正入力 - 医療法人 オルカクリニック									
診療年月	H23. 3	患者番号	00019	入外区分	提出先	レセプト種別	保険者番号		
診療科		日医 一郎		入院外	支払基金	1112	01130012		
年齢	43	給付割合	7	本人	不詳災1	請求年月	返戻年月	<input type="checkbox"/>	返戻無
		(公費請求書分)		請求年月	返戻年月				
		基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2	基本点数	回数	
初診			1	270					1
再診									
外来管理時間									
休日									